

市議会9月定例会を開催



いわき市議会9月定例会が、9月1日から15日までの15日間の会期で開催されました。

議会では、一般・特別・企業会計を合わせて85億4,286万9千円に上る補正予算などが審議され、30議案が可決・同意されました。その主なものを紹介します。

なお、令和3年度決算関連の20議案については継続審査となりました。

市長からの主な行政報告

新型コロナウイルス感染症への対応

8月には1日当たりの新規感染者数としては過去最多が確認されたことから、基本的な感染防止対策の徹底、医療機関の適正な受診、ワクチン接種の検討、県が配布する検査キットの活用などを呼びかけたことを報告しました。

原油価格・物価高騰などへの対応

市内の経済動向等について、現状を把握し、市として必要な対策を講ずるべく、商工会議所や農林水産業界、金融機関などの経済関連団体と初めて実施した意見交換会でいただいた意見を踏まえ、市独自の施策の構築を図ったことを報告しました。

新型コロナウイルスワクチン接種

小児接種にも努力義務が課せられたことから、接種効果などの情報発信の強化に努めることや、オミクロン株対応ワクチン接種の具体的な方針が示され次第、速やかに接種開始できるように準備を進めると述べました。

福島第一原子力発電所のアルプス処理水への対応

漁業関係者や市民の皆さんが風評の犠牲とならないよう万全の策を講ずるとともに科学的根拠を示し、丁寧な説明と理解醸成に努めるよう、引き続き国と東京電力に求めると述べました。

主な議案

○いわき市小川地域活性化センター条例の制定について

地域交流および地域の情報発信を図るための機会を提供し、地域の活性化に資することを目的とする地域活性化施設の設置と管理に関して必要な事項を定めるため、本条例を制定しました。

○いわき市防災会議条例の一部を改正する等の条例の制定について

防災体制を一元化するため、いわき市水防協議会の所掌事務をいわき市防災会議に移管することから、所要の改廃を行いました。

主な補正予算

- ▶ 物価高騰対応生活困窮世帯緊急補助事業費 = 2億4,660万4千円
- ▶ 施設園芸農家緊急支援事業費補助金 = 9,352万1千円
- ▶ 観光バスツアー誘客事業費 = 2,595万9千円
- ▶ 次世代の教育情報化推進事業費 = 1億324万3千円
- ▶ 公共交通強靱化事業費 = 1億8,700万円
- ▶ 内郷消防署建設事業費 = 5億5,301万4千円

